

## 2018年2月 勉強会資料 【編集内容】

◆ホームページより「genji.docx」のファイルをダウンロードし、下の編集をします。

1.下の文字列をスタイル「見出し1」に設定しましょう。

【貴公子 光源氏】

【源氏の復活と栄華】

【因果応報に苛む源氏】

【舞台は宇治へ】

2.スタイル「見出し1」の書式を下の内容に変更しましょう。

フォント :小塚明朝 Pro H(このフォントがない場合は、HG 正解書体-PRO)

サイズ : 18pt

フォントの色 : 濃い青

3.下の文字列の書式設定をしましょう。

2行目の 源氏 : 太字、フォントの色 : ゴールド、アクセント 4

3行目の 藤壺 : 16pt、太字、フォントの色 : 紫

7行目の 紫の上 : 太字、二重下線、フォントの色 : R255、G0、B255

4.下の文字列を検索し、文書中にいくつあるか数えてみましょう。

源氏 : 箇所

藤壺 : 箇所

紫の上 : 箇所

5. 下の書式の文字列を検索し、文書中にいくつあるか数えてみましょう。

**源氏** : 箇所  
(小塚明朝 Pro H、18pt、フォントの色 : 濃い青)

**藤壺** : 箇所  
(16pt、太字、フォントの色 : 紫)

紫の上 : 箇所  
(太字、二重下線、フォントの色 : R255、G0、B255)

※文字列の下のカッコ内が、文字の書式設定です。

6. 下の文字列を別の文字列に置換してみましょう。

源氏 → Genji  
藤壺 → Fujitsubo  
紫の上 → Murasakinoue

※書式設定に関わらずすべての文字列を置換します。

7. 下の書式の文字列を別の書式に置換してみましょう。

**Genji** : 太字を標準、フォントの色 : 自動  
(太字、フォントの色 : ゴールド、アクセント4)

**Fujitsubo** : 10.5pt、太字、フォントの色 : 紫  
(16pt、太字、フォントの色 : 紫)

Murasakinoue : 太字、二重下線解除、フォントの色 : R255、G0、B255  
(太字、二重下線、フォントの色 : R255、G0、B255)

※文字列の下のカッコ内が、文字の書式設定です。

8.下の文字列を別の文字列に置換してみましょう。

Genji                   → 源氏  
Fujitsubo              → 藤壺  
Murasakinoue         → 紫の上

※書式設定に関わらずすべての文字列を置換します。

9.下の文字列を別の書式に置換してみましょう。

藤壺                    : 太字、フォントの色 : 紫  
紫の上                 : 太字、フォントの色 : R255、G0、B255

10.「ジャンプ」機能を使い、「見出し1」の4つ目にジャンプしてみましょう。

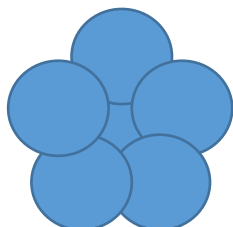
11.「ジャンプ」機能を使い、「見出し1」の1つ目にジャンプしてみましょう。

12.下の文字列を選択し、「類似した書式の文字列を選択」してみましょう。

選択後、書式設定もしてみましょう。

3行目 藤壺            : 18pt に変更  
7行目 紫の上         : 18pt に変更

13.最終ページの最終行の近くに、図形の「五角形」と「楕円」を組み合わせて下のような図形を描きます。



※描き方の詳細は授業の時にご説明します。

14.最終ページにカーソルをたて、「オブジェクトの選択と表示」を利用し、  
図形の「五角形」を**すべての図形の一番上に移動し、非表示**にします。

15.新しい表紙を挿入し、タイトル、サブタイトルなどを変更します。

表紙デザイン	: 金線細工
文書のタイトル	: 源氏物語
文書のサブタイトル	: あらすじ
日付	: 2018年1月

※会社名と会社の住所は、削除

16.下の指定した文字列の先頭に、カーソルをたて、「空白ページ」または  
「ページの区切り」を挿入します。

<b>【貴公子 光源氏】</b>	: 空白ページ
<b>【源氏の復活と栄華】</b>	: ページの区切り
<b>【因果応報に苛む源氏】</b>	: ページの区切り
<b>【舞台は宇治へ】</b>	: ページの区切り

17.表紙のデザインを「細い束」に変更します。

この時、名前、会社名の入力枠も挿入されるので削除します。